

令和5年度事業報告

【事業概要】

3月末会員数は1,258名となりました。全国的には会員数が激減しており深刻です。柏崎市では人口減少に引っ張られる形で高齢者の人口も減り始めています。退会抑制に力を入れてきた当センターは、会員数が昨年同期より増加していますので、結果的に粗入会率が向上することになります。

年間事業実績は、前年度対比で請負委任金額が1.1%マイナスとなりましたが、派遣金額が1.1%上回るという結果となりました。

3年間にわたり実施してきた厚生労働省直轄の「生涯現役促進地域連携事業」は3月末で終了し、当初の目標を概ねクリアしました。シニア活躍支援協議会は今後とも継続することが決まっており、引き続き柏崎管内シニアの多様な活躍の支援を行ってまいります。

事務局ではICT（情報通信技術）の利活用、DX（デジタル技術の浸透）の推進に重点を置いて、ペーパーレス化、RPA（事務処理ロボット）の稼働、情報のデジタル配信、電子契約などを積極的に行い、成果を出しています。

本年度センターが行った安全運転に関する様々な活動が評価され、新潟県安全運転管理者協会より表彰されました。

ワークプラザ柏崎は今年度で5年間の指定管理が一区切りつきましたが、公募による再申請を行い、もう5年間更新することが決まっています。

1 登録会員（年度末） 1,258人 （男694人 女564人）
男女比 男55.2% 女44.8%

2 事業実績

(1) 請負・委任 受注件数（新規）	7,154件（3,470）	昨年度比
(2) 請負・委任 就業延人員	73,144人日	4.9%減
(3) 請負・委任 配分金合計額	276,758,009円	0.8%減
(4) 請負・委任 受託金額	359,844,046円	1.1%減
内 訳		構成比
公 共	99,920,226円	27.8%
民間企業	156,081,878円	43.4%
一般家庭	62,882,510円	17.5%
独自事業	10,179,052円	2.8%
介護保険	30,780,380円	8.6%

(5) 一般労働者派遣事業

受注実件数	132件	昨年度比
契約金額	108,118,309円	1.1%増

(6) 請負・委任 職群別構成比

管理的職業	0.0%	専門的技術的職業	0.0%
事務的職業	0.6%	販売の職業	2.6%
サービスの職業	40.2%	保安の職業	0.0%
農林漁業の職業	10.1%	生産工程の職業	1.6%
輸送機械運転の職業	0.0%	建設採掘の職業	0.1%
運搬清掃包装等の職業	44.8%		

(7) 請負・委任・派遣 年間就業率	75.1%	(昨年度	75.4%)
特別会員93名を除いた就業率	82.0%	(昨年度	81.5%)
請負・委任のみ 年間就業率	64.4%	(昨年度	65.5%)

【部会報告】

企画推進部会

1 クリーン作戦の実施

今年度より地区別に行うのではなく、シルバーだより、メッセージ配信等で全会員に呼びかけ、10月21日(土)中央海岸のごみ拾いを企画しました。柏崎日報にも新聞広告を出し、市民の参加も呼びかけましたが、当日は悪天候により、やむなく中止としました。

2 会員募集・普及啓発PR活動の実施

10月22日(日)に開催された「かしわぎき秋の収穫祭」ではPRのチラシ配布を行い、10月28日(土)、29(日)に開催された「シニアじまん展」では女性活躍部会と協力し、会員の就業の様子の写真展示や、女性会員の手芸作品の展示を行い、シルバー人材センターの活動の紹介を行うとともに、来場者へPRチラシを配布しました。

3 防災講習会と会員忘年会の開催

12月9日(土)産業文化会館にて、14時30分から防災講習会を開催しました。地域活動サポートセンター柏崎様を講師に迎え、取り入れやすい自主防災の知識や冬の災害に備えた防災のポイントなどを教えていただきました。参加者は24名でした。

あわせて開催した会員忘年会は、同じく産業文化会館にて16時頃より開催しました。マジックショー、ビンゴ大会で和気あいあいと盛り上がりました。参加者は36名でした。

4 「柏崎シルバーボランティアの会」の設立

企画推進部会が立案し、ボランティア活動で社会参加、社会貢献活動に参加希望のシルバー人材センター会員を募って「柏崎シルバーボランティアの会」を立ち上げました。「駅前 STAY-tion ふらっと」での店番ボランティアの活動を12月より開始しました。現在24名の方が参加しています。

広聴広報部会

令和5年6月19日の定時総会で確認された事業計画に基づき、今年度のテーマとして4項目を重点に掲げ、活動した結果を報告します。

1 広報誌『シルバーだより柏崎』の編集発行

積極的に現場に出向き、会員の声が収集できる写真を多く取り入れ、出来るだけ見やすい工夫をして編集しました。

＊第126号 令和5年9月15日発行（8頁）

＊第127号 令和6年4月15日発行（12頁）

『シルバーだより柏崎』の刷新のため、新潟工科大学に協力を仰ぎ、ゼミの授業で新デザインを作成していただきました（新デザインは第128号より使用）。

2 メディアの活用(情報の収集及び発信)

『生涯現役促進地域連携事業』を柏崎市シルバーの役員・事務局・会員が一丸となって取組・遂行するため、『シルバーだより柏崎』等による広報活動を実施しました。

ポイントカード(会員証)の利用促進をPR、フレンドショップの活用、FMピッカラによる放送、漫画パンフレットの作成等を行いました。

柏崎市シルバーの活動について、インスタグラムによる情報発信及び『シルバーだより柏崎』等による広報活動を実施しました。

3 周知活動(イベントチラシの作成)

フレンドショップの活用・拡大、各種行事の案内

4 入会案内資料等のPR

オンライン入会の利用促進として、『シルバーだより柏崎』の表紙にホームページの二次元コードを掲載しました。

女性活躍部会

- 1 女性会員拡大の一環として、企画推進部会と合同でシニアじまん展（老人クラブと共催）でのシルバー人材センター展示コーナーに、手芸作品等展示品の協力をしました。

- 2 女性会員の就業資質の向上と楽しめる場づくりとして各種教室や講習会を開催しました。
 - ・折り紙教室 ・干支づくり講習会 ・料理講習会
 - ・クリスマス、お正月のリースづくり講習会
- 3 ふれあいサロン「やまゆり」に協力するため、講師指導のもと「干支づくり」と「米ぬかカイロづくり」講習会を実施し、販売しました。
- 4 女性会員同士のつながりを深めるため「女性会員の集い」を開催しました。講師によるピラティスで体をほぐした後、茶話会を開き和やかな雰囲気の中、活発に意見交換を行いました。体を動かすきっかけづくりと会員相互の親睦を深めるよい機会となりました。
- 5 女性会員の就業機会拡大のため、コメ袋エコバッグの製作に取り組みました。現在、販売に向け準備を進めています。

安全衛生部会

令和5年度は「指差し 声出し 元気出し 意識高めて安全作業」をテーマとして、取り組みを行ってきました。

令和5年度の事故件数として、傷害事故3件、賠償事故4件、労災1件が発生しました。昨年度比1件減少という結果です。今年度は、刈払機による物損事故や、屋外作業中の不注意による傷害事故が目立ちました。そのため安全パトロールにおいても、作業前の事前現場確認や指差し呼称の励行などを重点的に点検しました。パトロールの結果としては、朝礼の励行や危険予知に関する安全意識の向上は見られたものの、カラーコーンや救急用具の不足、脚立の立て方など、仕事用具に関する注意点の指摘が多くみられました。

令和6年3月に職群班長安全研修会を行いました。昨年度は班長のみを対象とした研修会でしたが、今回は班長、副班長、安全担当まで対象者を拡大し、より多くの会員に参加をしていただきました。

令和5年度の主な活動内容は以下の通りです。

- 1 安全目標の掲示、周知
- 2 安全掲示板の設置
- 3 シルバー5S運動の周知
- 4 職群班ごとに安全担当会員を選出
- 5 作業前朝礼時、「声だし運動シート」による安全唱和の実施
- 6 「安全・適正就業ミーティングチェックシート」を活用し作業前点検の実施
- 7 安全パトロールの実施

- 8 安全就業達成証及び安全マークの発行
- 9 安全就業通信及び季節ごとの注意喚起文書の配布
- 10 安全就業シールの配布
- 11 「作業中」と表示した看板を屋外作業班に配布
- 12 ヒヤリハット事案を募集
- 13 連合会主催の「安全・適正就業研修会」へ参加
- 14 「安全就業必携ハンドブック」の常時携帯と活用の徹底
- 15 作業現場に同行しての安全指導を実施
- 16 救急箱の点検、補充
- 17 「刈払機取扱作業者」に関する安全衛生教育の未受講者に取扱安全講習会を実施
- 18 家族への就業先明確化の徹底
- 19 事故等取扱基準（ペナルティ制度）の適用
- 20 職群班安全研修会を開催
- 21 安全就業通信、事故件数のメッセージ配信

このように多くの安全活動を実施し、安全への意識高揚に努めました。